

## 八ヶ岳 天狗岳山行報告書（三月定例山行）

(山域) 八ヶ岳連峰 天狗岳

(コース) 3月7日(土曜日) 渋の湯～黒百合ヒュッテ

3月8日(日曜日) 黒百合ヒュッテ～東天狗岳～黒百合ヒュッテ～渋の湯

(日時) 3月7日(土曜日)～3月8日(日曜日)

(天候) 3月7日(土曜日):曇り時々晴れ／3月8日(日曜日):小雪

(参加者) CL:内堀(記録)・SL:齊藤・狩野・岸野・大森・小原

(山行タイム)

3月7日(土曜日) 渋の湯 10:50～分岐 12:00～黒百合平(ヒュッテ) 13:50

3月8日(日曜日) 黒百合ヒュッテ 7:15～東天狗岳 8:20～黒百合ヒュッテ 9:45/11:05～渋の湯 12:35

(山行報告)

内堀車は大森宅→岸野宅経由して松ヶ丘ICより京葉道路・首都高・中央道を抜け双葉SAで狩野車と待合せ。狩野車は齊藤宅→小原宅 首都高・中央道を抜け双葉SAで合流  
少し遅い朝食をとり2台の車つるんで、諏訪南ICより渋の湯に向かう。この道は冬でも路線バスが通る道のため、除雪が進んでいた。比較的通り易かった。最後は片側通行だな。  
渋の湯で駐車料金を払い、係員の誘導に従い無事駐車が出来た。人込みが多い場合はこの駐車場が一杯になることもあるようである。皆で出発準備をするが今回宴会山行のように、共同装備が沢山あり、全員大きなザック一杯でのスタートとなった。登山口で計画書を入れ出発。

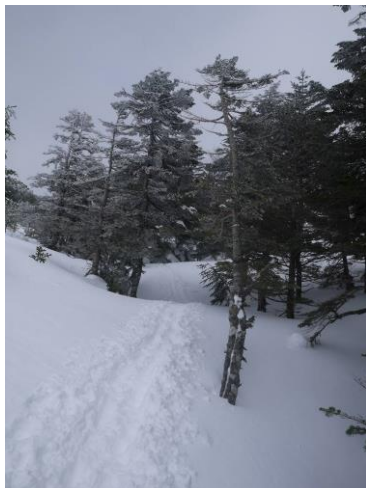


渋の湯出発直前



黒百合平への登山道

荷物が重いせいか皆さんピッチが上がらず、苦しい人が何人か見受けられた。1時間程度で分岐に到着して休憩に入る。人は沢山入っているせいかトレースが十分についている。  
更に登り続けて途中軽い休憩を挟み、ようやく黒百合ヒュッテが見え、メンバー全員ホッとした。



黒百合平への登山道



黒百合ヒュッテ

時間も早いですがテントを設営し、テン場代をヒュッテに支払いに行ったら、水がもらえず、水作りを一時間半程度掛ってしまった。この間全員無口でお酒も飲まず、待ち続けた。皆さん忍耐力があることに感心した。時計を見ると16:00手前であり食事の準備を開始する。それに合わせて乾杯でのを潤す。本日の食当は私であり、下準備もしていたので、ポトフの材料をコッフェルに入れ、水を注ぎバナーに掛ける。更に、もう一つの鍋には、おでんを入れバーナに掛ける。いい塩梅になった所で、ポトフはコンソメ・塩・ブラックペッパーで味を整える。おでんは具材が膨らんだところで食べ頃に、副菜としてもやしのナムル、ポトフに合う、フランスパン・チーズ・バターと本日の食材全て高カロリーばかりである。いつしか食事に手が伸び食べ始め、高カロリー談義に花を咲かせていた。皆様の食欲は凄かった。



夕食 (3/7 : 土曜日)

- ・ポトフ／おでん／フランスパン
  - ・もやしのナムル／チーズ・バター
- 高カロリー食である。ポッチャリ集団か？

お酒もビールからワインに進み、梅酒・日本酒と進み相当酔った頃、先に寝る組は去っていた。残ったメンバーは更に片づけを済ませてからも、日本酒に手を付け飲み続けて、いつの間にか寝てしまう始末であった。朝方、姿勢が悪い状態で寝ていたため4:30頃起床してしまった。やることもない、寒くないので、片づけを行い。何か昨日の酒が未だ抜けていない。熱い物でも入ればと思い、火を起し紅茶を飲むが一向に直らない。それでも、朝食の準備を行い、軽い朝食を済ませた。一人順調に食事を全て平らげる大森さんを遅しく思った。お酒を飲まない人は元気だなー？ 齊藤さんはお酒を飲み過ぎ偏頭痛になり、朝食・天狗岳山行をパスする羽目となった。残念である。食事も済ませ、出発の準備に取り掛かる。登山靴・スパッツ・アイゼンを装着して完了。昨日からの雪が降り続いており、朝方でも止んでいない。但し、非常に暖かい。湿った雪だな。5人揃った所で出発、すぐ中山峠を越え更に樹林帯を進む、この道もトレースが付いている。アウターを着ているせいか非常に熱くかじられ、30分ほどで我慢が出来ずアウターを脱いでしまった。樹林帯を抜けた場所で急登が少しあったが、難なく超えて行く。

天狗岳に向かう急登  
他グループ



東天狗岳山頂  
三角点は無かった。



更に進むと東天狗山頂が出現した。小雪であるが風はなくアウターが無くとも平気であった。本日は超ラッキーだなと思い、山頂にいと次から次と人が訪れ満杯状態に至る。写真が撮れない。15分程して空いたところ先発隊3名による記念撮影を実施。更に待ち続け寒さが感ずる頃、大量の女性グループ後ろに後続メンバーがようやく到着した。

天狗岳山頂集合写真



女性グループは山ネットガールの登山者であった。25名程いました。これほど多いと羨ましく、中に混ぜて頂きたいと私だけが思った。それを察してか、山ネットガール女子に少しイジラレ楽しかった。若い人も沢山いました。中には私と変わらない人もいました。幅はあるようです。全員で記念撮影を済ませ、山ガールネットグループと途中まで一緒に下山して、途中、急斜面で抜き去り、黒百合ヒュッテまで向かう。

齊藤さんを起こし、テント撤収の準備に取り掛かる。私は昨日より本日の方が荷物がある。テント本体・フライは湿った雪で水を含み、相当重くなっていた。皆さんの要望もあり、片づけが終了した所で黒百合ヒュッテにてティータイムとした。

黒百合ヒュッテ出発前



十分落ち着いたところで、ヒュッテ外に出てアイゼンを装着して、ザックを担ぐ。重いね。昨日来た道をただひたすら下山し、分岐で軽い休憩を取り、下山を重ね、渋の湯に到着した。渋の湯では路線バスのアルピコが出発準備をしていた。最後に全員での杵撮影で下山完了した。片づけを済ませ、車を飛ばし石遊の湯に向かうが、営業はしていなかった。隣にある蕎麦屋は営業している。齊藤さん曰く長野でも結構有名な蕎麦屋らしい。テレビでも取上げたとの事。近場にある縄文の湯に向かう。400円と非常に安かった。風呂上り後は、軽い食事をとり帰路についた。各車往路と同じように一人一人落として行き、自宅に着いたのが19:30頃であった。

(渋の湯到着後の集合写真)



(3/7 出発後分岐周辺)



(唐沢鉱泉分岐指標)



以上